

# 健診データから200パターンの組み合わせの OneToOneバリエーション健康情報冊子を作成



代表取締役社長  
西川 昌人 様

情報提供から保健指導までのトータルな予防サービスを提供する、予防医療のリーディングカンパニーを目指すヘルスケア・コミッティー株式会社。

同社では、健康保険組合・共済組合・国民健康保険などへのコンサル業務や組合員への生活習慣改善指導など多岐にわたって予防医療に関するサービスを提供しています。

そのひとつとして、健康診断データを元にその人に合わせた生活習慣病に関する情報をバリエーション冊子で提供するサービスを実施しています。このバリエーション冊子の製作で《FormMagic Server》が活躍しています。

今回はヘルスケア・コミッティー株式会社の代表取締役社長 西川 昌人様、およびソリューション開発運営部 小林 穰部長に、《FormMagic Server》導入の経緯や効果についてお伺いしました。

## 生活習慣病の保健指導情報をバリエーション冊子で提供

ヘルスケア・コミッティー株式会社では、「ポピュレーションアプローチ」と呼ばれる考え方で、生活習慣病に関する情報をバリエーション冊子で提供しています。

「生活習慣病に陥ってしまう前に食い止めるにはどうしたらいいかということで、生活習慣病のリスクが現在ない人に対しても注意を喚起することが重要だという考え方です。今は健康でも、加齢によって健康のリスクは年々高まります。そこを運動や食生活などに現在よりも少しだけ気を使うことで健康寿命を延伸させる。こうした考え方に基づいてバリエーション冊子「QUPiO」を提供しています。」と西川社長は話してくださいました。

現在、バリエーション冊子「QUPiO」では、健診結果を元に肥満や高血圧などのリスクがある場合はそれに応じて、リスクがない場合は現状を維持・改善するための情報をという形で一人ひとりの体調に合わせた内容を提供しています。

「当初は一人ひとり内容が異なる冊子といっても、ページ単位でパターンを用意、健診結果の分析に従ってピックアップすることで冊子を製作していました。そうしたこともあって、初期にはリスクが多い人は50ページ以上になったケースもあっ

たそうです。」と西川社長は話してくださいました。

## 求めたのはきめ細かな可変処理とコスト削減

「例えば、おすすめの運動を紹介するときにページ単位ではなく、年齢、性別、リスクなどに応じてページ内の部分々々をきめ細かく可変させたい。そうすることでもっと読ませる冊子にすることを考えていました。もちろん、それはページのピックアップでは無理なので、実現手段として自動組版、バリエーション印刷の調査を始めました。」とは《FormMagic Server》導入前を振り返ってのソリューション開発運営部 小林部長の言葉です。他にもコスト面の課題があったそうです。

「製作システムは、フルスクラッチでシステムを構築していました。毎年デザインやパターンは変更していましたが、その度にかかなりの費用が必要でした。この部分をサードパーティのパッケージソフトを活用してコストダウンを図りたいという思いもありました。」と小林部長は話してくださいました。

こうした課題を解決する手段を探していく中で、めぐり合ったのがFFGSの自動組版エンジンである《FormMagic Server》だったそうです。



ヘルスケア・コミッティー株式会社のバリエーション保健指導冊子「QUPiO」のページ例

## 200パターンの組み合わせをバリエーション出力で実現

ヘルスケア・コミッティー株式会社では、《FormMagic Server》をパッケージソフトとして導入、同社の医師・保健師・管理栄養士のノウハウが詰まった健診結果の分析部分と組み合わせ一人ずつの冊子をバリエーション出力するシステムを自社で構築・運用しています。

「現在、「QUPiO」のページ数はどなたでも12ページで共通です。この12ページに対して、昨年版で200パターンのバリエーション

設立	2003年
本社	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-10 本郷 TKビル URL <a href="http://www.hcc-jp.com/">http://www.hcc-jp.com/</a>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業コンサルティング</li> <li>・健康感度を高める情報提供サービス</li> <li>・生活習慣改善指導（特定保健指導）の受託</li> <li>・保健指導支援ツール（専門職向け）</li> <li>・生活改善の継続支援サービス</li> </ul>

エーションを実現しています。」と西川社長は言います。

この200パターンにはページ単位の可変ではできなかった読ませるための工夫が含まれています。例えば、サッカーのイエロー/レッドカードに倣って現在のリスクを色で示した上で、リスクを放置するとどんな結果になるかの因果関係までを1ページで見せたり、ページの見出しに名前を入れたりといったことが現在「QUPiO」には取り入れられています。「これらは《FormMagic Server》を導入した成果です。また、コスト面でもピッキングが不要になったり、デザインやパターンの変更がパッケージの機能で対応できたりすることで一番高かったときと比べて1冊当りの単価が1/5～1/6くらいになっていると思います。」と小林部長は話してくださいました。

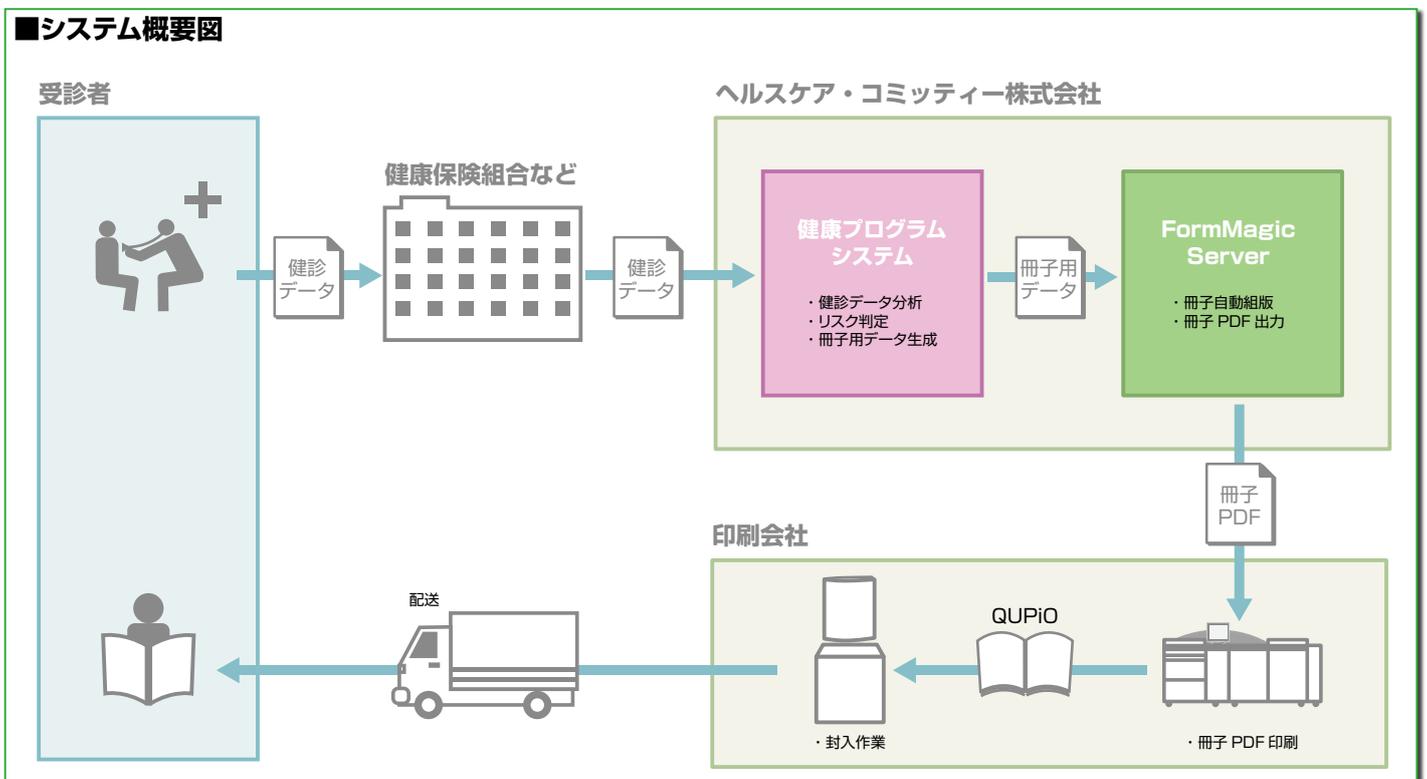
### 当日渡しの健診結果バリアブル冊子サービスを実現

現在、「QUPiO」の発展系とも呼べるサービスを始めたそうです。それは健康診断を受けた当日に健診結果の速報と「QUPiO」と同様な保健指導情報を含むバリアブル冊子を受け取れるサービスです。

「江戸川区の国民健康保険様向けのサービスです。私も実際に江戸川区の健診センターに行ったんですが、健診後、帰る前にはバリアブル冊子の形式で結果を受取れるというので、もらった人は非常に驚いてすごく真剣に冊子を見ましたね。健診結果のデータを元に《FormMagic Server》が冊子を自動組版、バリアブルでPDFを出力する仕組みがあって初めて実現できたのだと思います。」と西川社長は言います。

### 更なる効率向上と新技術への対応を期待

最後に、今後の《FormMagic Server》に対する要望についてお伺いしました。「そうですね、やはりパフォーマンスのところが一番ですね。PDFをいかに早く出力できるかという部分、以前にもパフォーマンスのチューニングの部分で相談をさせていただきましたが、今後バリアブル冊子のサービスを拡大しようとした場合、更なる効率向上に期待をしています。また、現在はPDF出力ですが、今後はEPUBとか新しい技術に変わっていく可能性もあります。引き続き新しい技術を製品に取り入れていっていただければと思います。」と小林部長。同社の今後の展開を考えた性能向上や新技術についての期待を話してくださいました。FFGSとしても、そうした期待に応えられるように、さらなる製品の進化を目指していきたいと感じました。



**FUJIFILM**

●お問い合わせは下記まで

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル

TEL:03-6419-0300(インフォメーションダイヤル)

URL <http://ffgs.fujifilm.co.jp/>